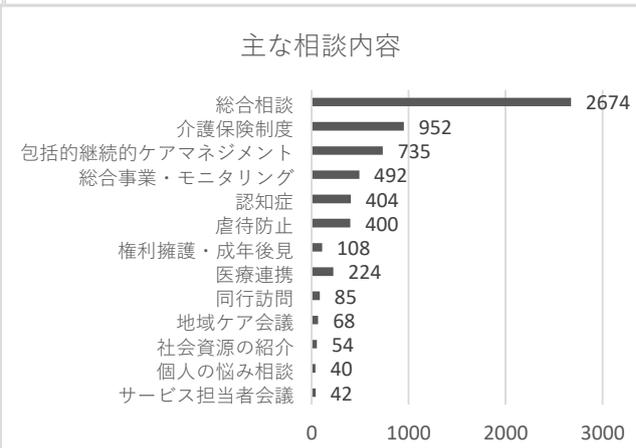
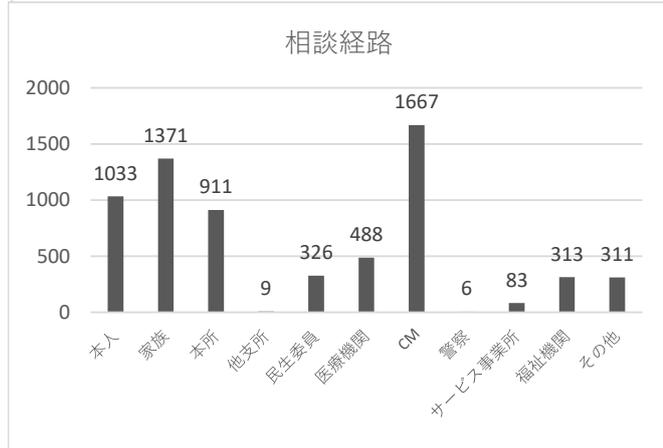
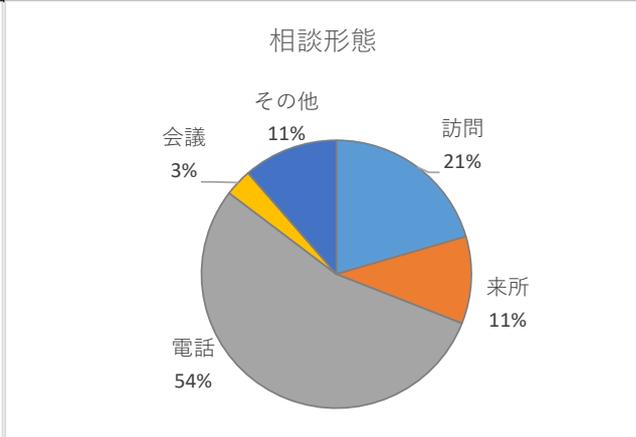
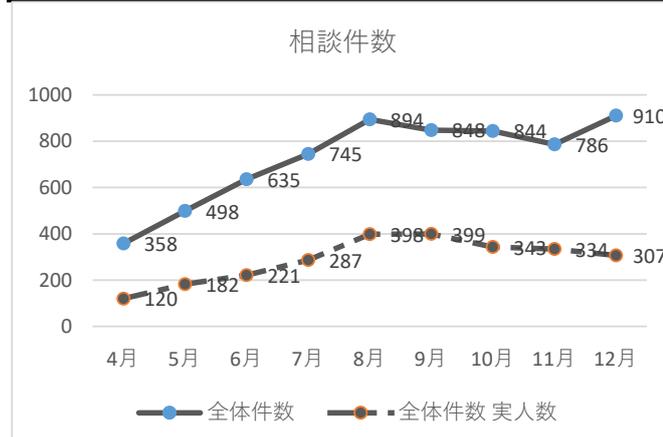


1 地域包括支援センター支所相談件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	
全体件数	358	498	635	745	894	848	844	786	910	6518	
実人数	120	182	221	287	398	399	343	334	307	2591	
相談形態	訪問	87	104	167	163	168	165	158	142	180	1334
	来所	44	76	86	98	96	72	73	78	63	686
	電話	182	251	280	392	525	493	454	437	530	3544
	会議	11	16	24	24	20	28	33	24	33	213
	その他	34	51	78	68	85	90	126	105	104	741
相談経路	本人	60	70	105	107	133	159	123	107	169	1033
	家族	68	102	135	158	188	205	156	178	181	1371
	本所	88	69	90	100	108	102	116	100	138	911
	他支所	1	1	0	2	0	2	0	1	2	9
	民生委員	14	16	22	29	46	48	60	46	45	326
	医療機関	20	45	41	78	84	43	49	72	56	488
	CM	65	129	156	170	217	207	272	212	239	1667
	警察	2	0	1	1	2	0	0	0	0	6
	サービス事業所	1	7	6	15	18	4	4	12	16	83
	福祉機関	11	16	27	49	43	47	40	41	39	313
	その他	28	43	52	36	55	31	24	17	25	311
合計	1194	1676	2126	2522	3080	2943	2875	2692	3037	22145	

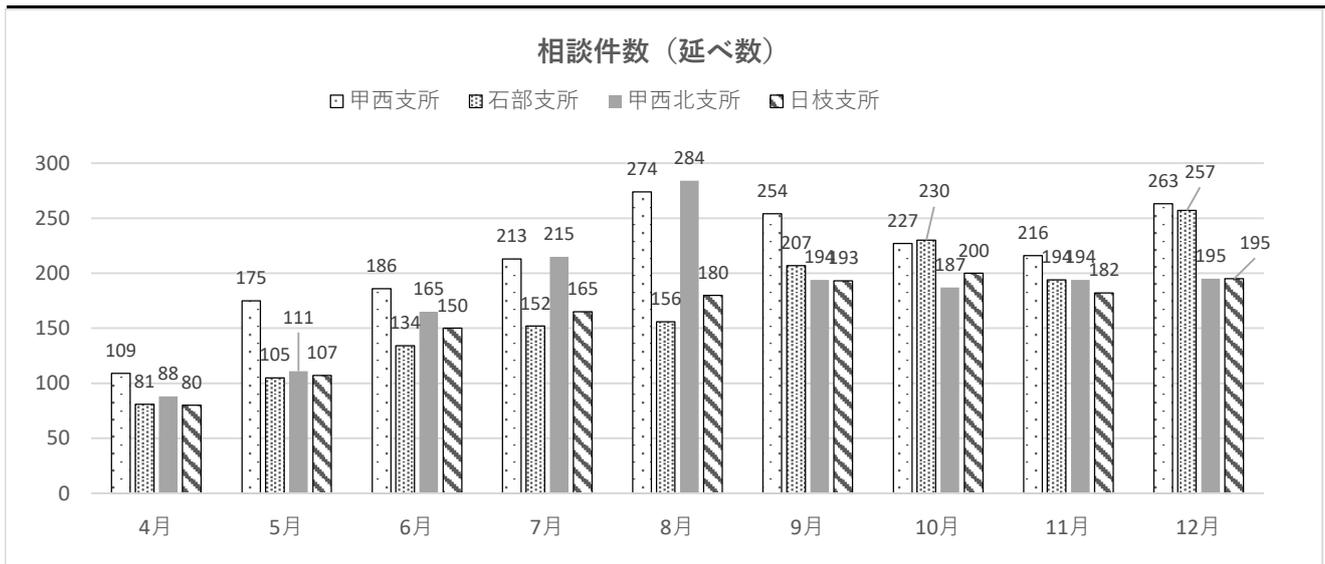


地域包括支援センター支所事業報告(支所別)

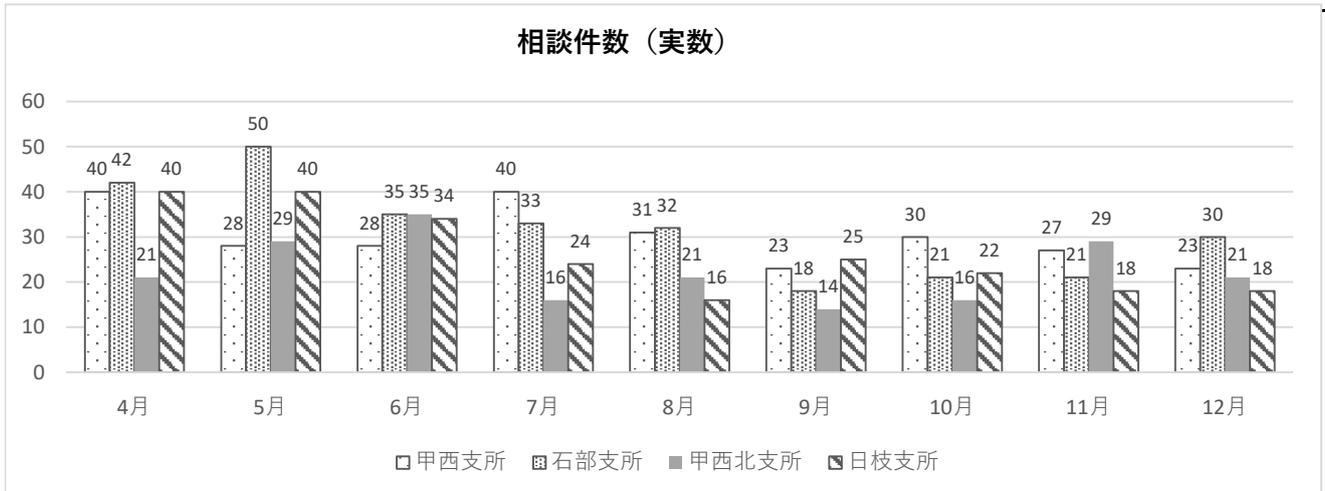
1.人口（中学校区別）令和4年4月1日現在

	人口	65歳以上人口		高齢化率	65歳以上人口のうち75歳以上人口
			75歳以上		
甲西中学校区	15,253	3,961	2,139	26.0%	54.0%
石部中学校区	11,743	3,163	1,523	26.9%	48.2%
甲西北中学校区	15,779	4,227	1,813	26.7%	42.9%
日枝中学校区	11,667	2,483	1,335	21.2%	53.8%
合計	54,442	13,834	6,810	25.4%	49.2%

2.相談件数（延べ数）



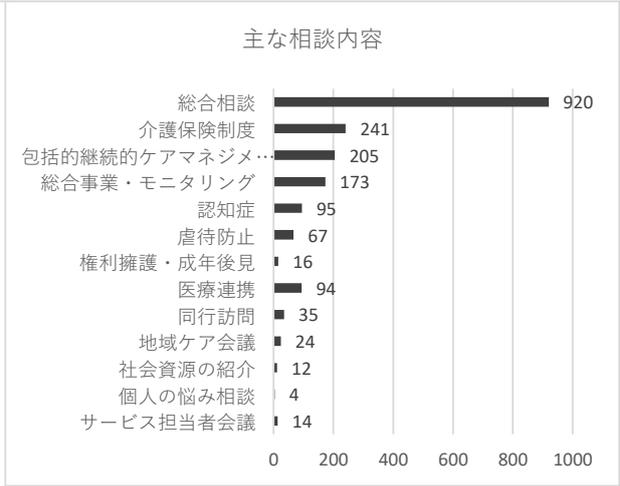
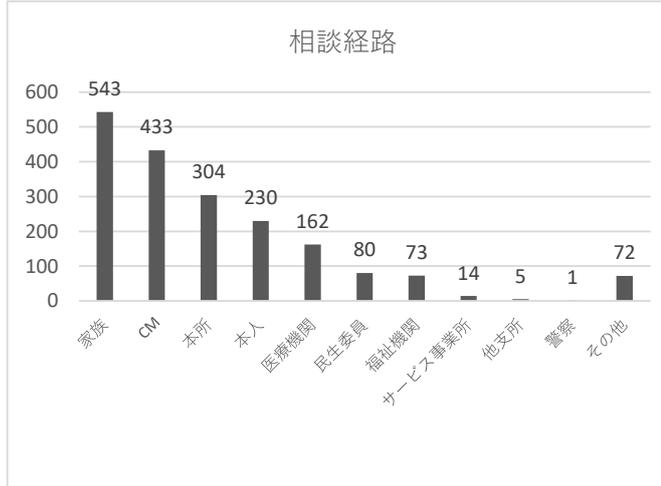
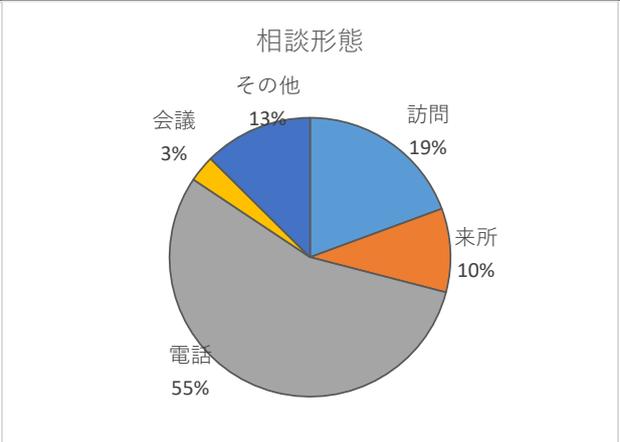
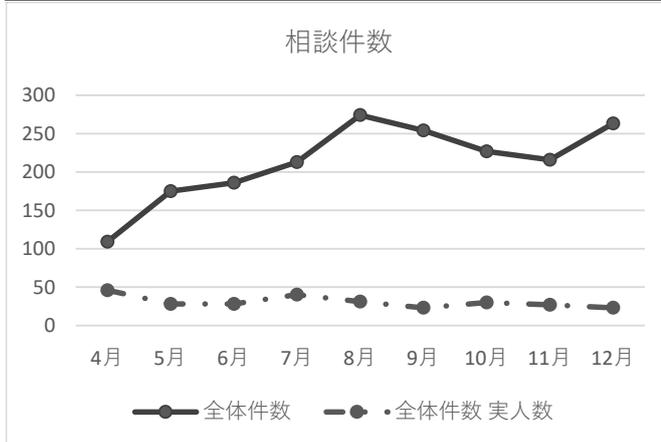
3.相談件数（実人数）



湖南省地域包括支援センター甲西支所 総合相談業務報告

資料2-①

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計	
全体件数	109	175	186	213	274	254	227	216	263	1917	
実人数	46	28	28	40	31	23	30	27	23	276	
相談形態	訪問	19	24	39	49	64	51	42	35	48	371
	来所	14	26	25	18	22	20	25	19	17	186
	電話	65	87	85	112	157	150	110	132	163	1061
	会議	4	7	8	11	4	2	7	7	9	59
	その他	7	31	29	23	27	31	43	23	26	240
相談経路	本人	11	20	22	20	41	40	16	14	46	230
	家族	22	46	47	55	82	87	71	69	64	543
	本所	30	29	28	45	32	27	33	28	52	304
	他支所	0	1	0	0	0	2	0	1	1	5
	民生委員	0	0	4	5	12	17	19	14	9	80
	医療機関	10	13	16	28	32	12	11	20	20	162
	CM	28	45	44	37	59	48	72	50	50	433
	警察	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
	サービス事業所	0	0	0	0	0	0	0	7	7	14
	福祉機関	7	6	12	15	5	13	1	7	7	73
	その他	1	15	13	7	11	8	4	6	7	72
合計	109	175	186	213	274	254	227	216	263	1917	



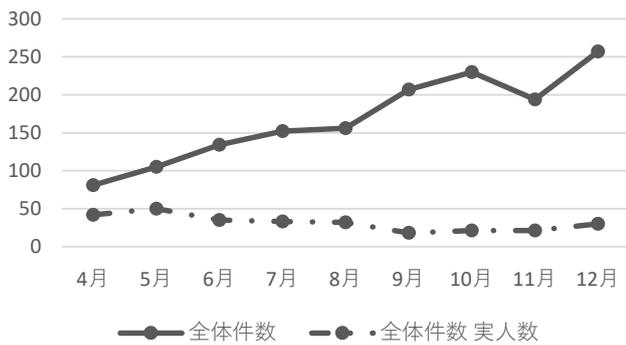
今年度取組めたこと	今年度の目標（狙い、めざしたこと）
	訪問活動やサロン・いきいき百歳体操の場等に出向いて支所の周知を行う。 民生委員・児童委員、まちづくり協議会、地域支えあい推進員などの関係機関との顔がつながる関係を作る。
	上手く取組めたこと（努力したこと） 民生委員・児童委員連絡会議やまちづくり協議会が主催する第2層協議体（よろず会）等に参加し、支所から見た地域の実情等を報告した。 生活圏域単位での地域ケア会議を開催した。 支所周知のため、相談活動だけでなくサロン、いきいき百歳体操等に出向きチラシ配布など周知に努めた。
見えてきた地域の姿	中学校区の課題や特徴
	家族との同居が37%と多い。一方で、独居と高齢者夫婦世帯を合わせると55%になる。早期での相談や支援につながりにくく、家族が抱え込み、困ったと感じてから相談につながるケースが多い。 会館等の生活指導員が個別ケースの相談に入っており連携できるのが強みである。民生委員からの相談は多くない。 高齢者が虚弱状態となったとたんに地域とのかかわりが途切れてしまう。地域の集まりの仲間も、本人が参加しなくなったのを気にしているがどうして良いかわからない現状があった。 地域での課題としては、75歳以上の高齢者数も多く「認知症」や「虐待」、「8050問題」、「生活困窮」などいろいろな課題がある。
個別ケース会議での検討課題	認知症高齢者の行方不明対応 地域の見守り支体制について 老々介護 虐待解消後の支援 生活困窮 8050問題 身寄りがない独居高齢者の支援
めざすべき地域の姿	地域住民が住み慣れた地域で、支えあいながら安心して過ごせる地域。
次年度特に努力すること	地域のなかで支援していけるよう民生委員・児童委員をはじめ地域の支援者との理解を深め協力体制を整える。 常に権利擁護を意識し、権利侵害（虐待等）について早期に気づけるよう取組む。

湖南省地域包括支援センター石部支所 相談業務報告

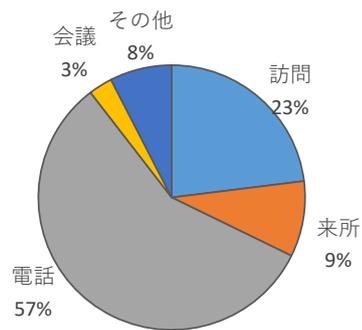
資料2-②

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計	
全体件数	81	105	134	152	156	207	230	194	257	1516	
実人数	42	50	35	33	32	18	21	21	30	282	
相談形態	訪問	19	33	41	31	31	39	46	47	62	349
	来所	7	18	16	21	12	13	17	17	19	140
	電話	51	47	52	85	93	137	143	104	157	869
	会議	1	3	7	6	4	8	8	2	5	44
	その他	3	4	18	9	16	10	16	24	14	114
相談経路	本人	16	17	27	23	23	33	36	36	64	275
	家族	21	22	21	38	19	53	50	44	55	323
	本所	8	2	4	8	11	14	25	16	26	114
	他支所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	民生委員	0	2	0	0	4	8	8	4	9	35
	医療機関	4	8	7	7	19	12	23	13	20	113
	CM	17	24	45	51	51	68	65	64	65	450
	警察	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2
	サービス事業所	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
	福祉機関	3	7	10	16	12	12	13	10	10	93
	その他	12	23	20	9	15	7	10	6	8	110
合計	81	105	134	152	156	207	230	194	257	1516	

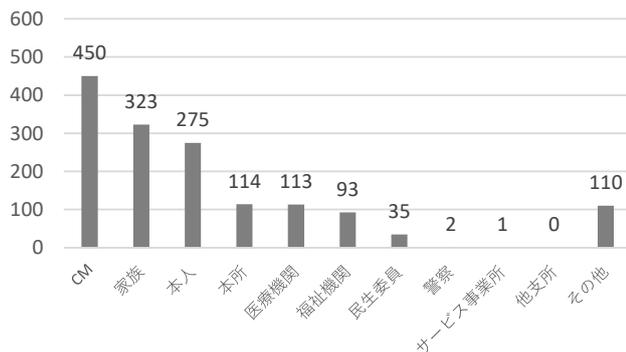
相談件数



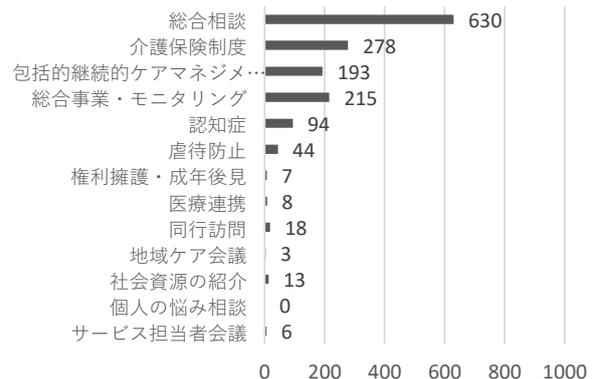
相談形態



相談経路



主な相談内容



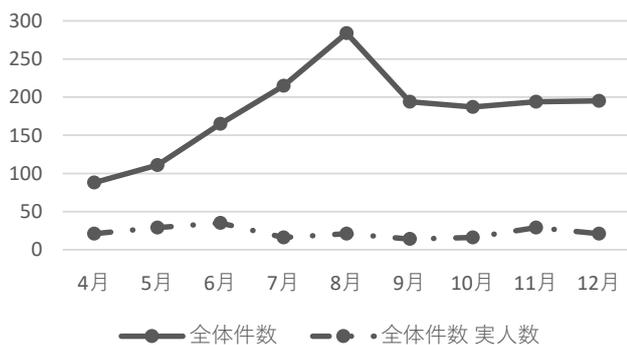
今年度取組めたこと	今年度の目標（狙い、めざしたこと）
	支所が新たに開設されたことへの周知を行う 元気な状態を可能な限り維持してもらうようなはたらきかけを行う（石部学区は元気な高齢者が多い。「元気」を継続する介護予防の取り組み）
	上手く取組めたこと（努力したこと）
見えてきた地域の姿	民生委員・児童委員や地域支えあい推進員、いきいき百歳体操、サークル、老人福祉センターなどへのあいさつ回りを行い支所を周知した。その結果、足を運んだ各箇所からの相談により支援に繋がったケースがあった。 元気な状態の維持につながるよう総合事業や体操に繋がった。 民生委員・児童委員の方と協議を行い対象者把握について情報共有を行った。
	中学校区の課題や特徴 家族や近所、人との繋がりが強い地域である。 口コミで情報が広がり、人がつながる傾向がある 小学校区で相談件数に差がある。石部南小区は、早期の相談は比較的少ない印象がある。 支援困難ケースにおいて、家族と同居でも介護力不足の場合もある。生活困窮や金銭管理に支援が必要なケースも多い。そのような状況でも住民自身が「自分たちでなんとかしてきた」、「しようとする力」を持っている。 一方で、支援困難ケースの周囲では「専門職に任せれば、自分達は何もしなくても大丈夫」という地域住民の思いもある。介護保険利用している人でも、地域の一員として地域も支える仕組みがあればよい。
個別ケース会議での検討課題	認知症を発症する独居高齢者の行方不明に対する対応 認知症状の悪化にともなう介護サービスの継続が難しいケースの専門医受診について 障がいを持つ子供を介護する高齢者や家族内で複数の課題を有するケースについて 家族が介護者・キーパーソンとしての役割を行うための家族支援
めざすべき地域の姿	介護保険などの公的サービスだけでなく地域の人とのつながりで高齢者を支え、可能な限り地域での生活を継続できる地域づくりをめざす。
次年度特に努力すること	○関係機関との関わりを通じて支所の認知度をあげ、支援を必要の人に早期に繋がれるようにする。 ○地域の通いの場に出向き、元気な高齢者に対しても支所の認知度を高める。

湖南省地域包括支援センター甲西北支所 総合相談業務報告

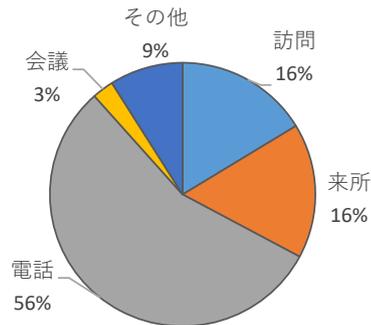
資料2-③

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
全体件数	88	111	165	215	284	194	187	194	195	1633
実人数	21	29	35	16	21	14	16	29	21	202
相談形態										
訪問	29	23	47	33	27	32	24	21	30	266
来所	16	17	34	50	46	30	23	31	23	270
電話	31	64	77	107	186	113	105	115	110	908
会議	2	4	1	2	5	8	9	4	8	43
その他	10	3	6	23	20	11	26	23	24	146
相談経路										
本人	21	14	31	31	34	46	23	27	30	257
家族	15	21	44	45	66	45	28	34	30	328
本所	16	17	22	24	37	21	31	33	29	230
他支所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
民生委員	13	10	15	15	17	11	11	7	7	106
医療機関	3	18	9	16	18	8	5	23	8	108
CM	6	29	24	53	69	39	65	48	74	407
警察	2	0	1	0	0	0	0	0	0	3
サービス事業所	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
福祉機関	1	0	3	14	19	12	17	18	7	91
その他	11	2	16	17	23	12	7	4	10	102
合計	88	111	165	215	284	194	187	194	195	1633

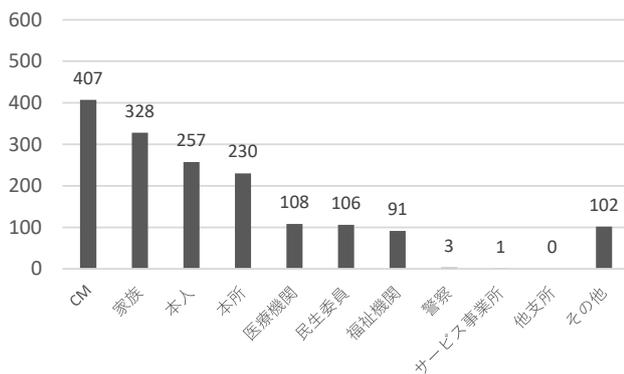
相談件数



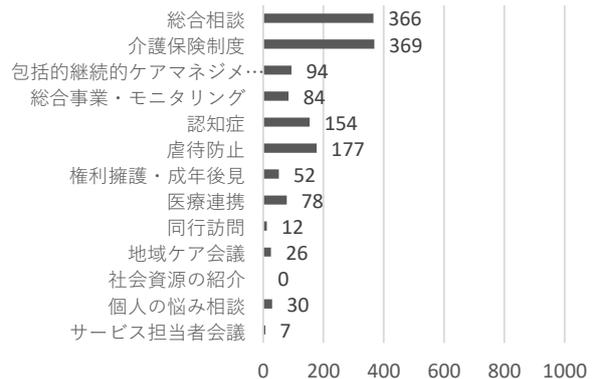
相談形態



相談経路



主な相談内容

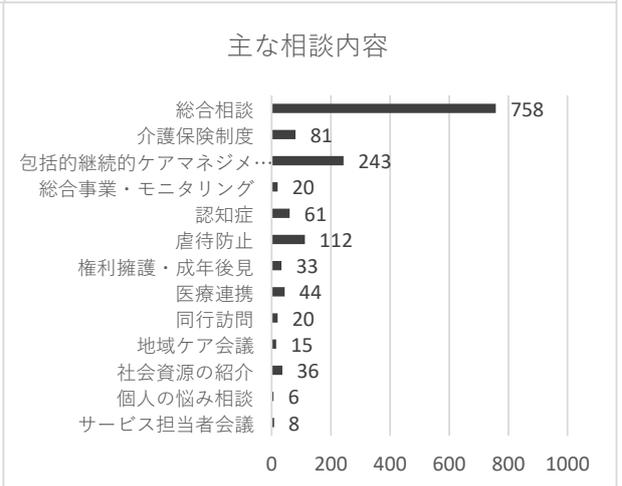
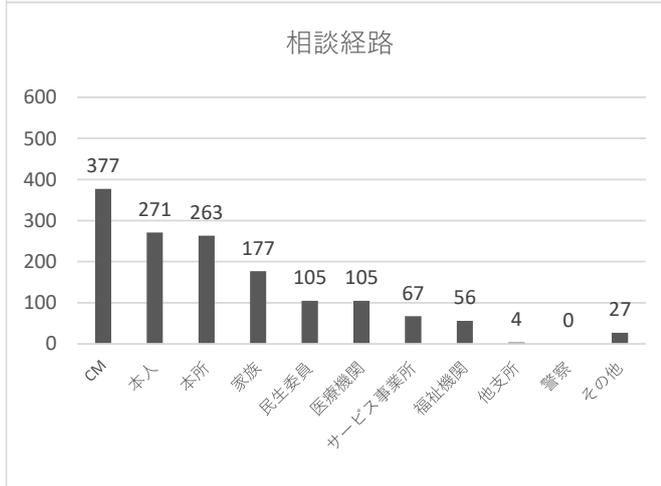
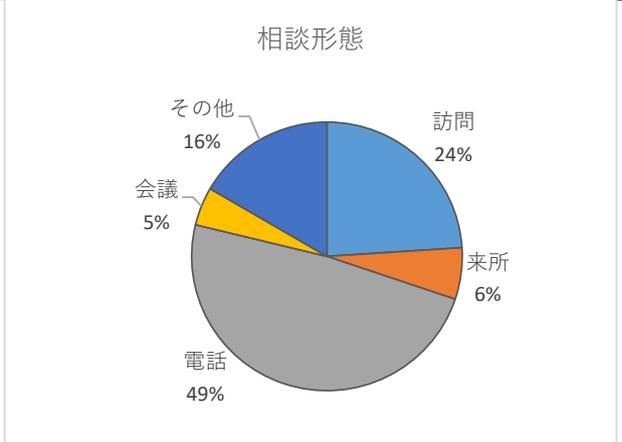
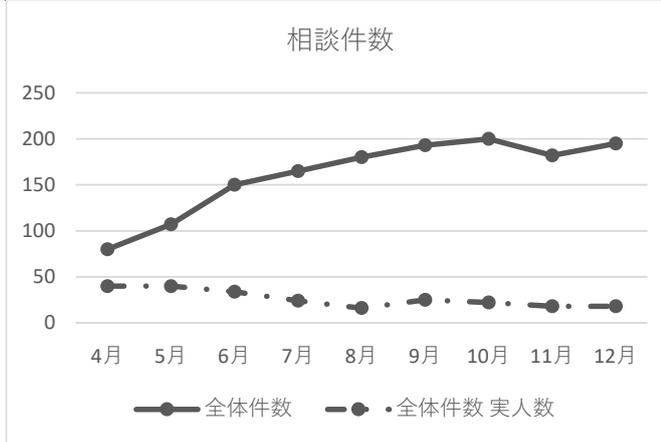


今年度取組めたこと	今年度の目標（狙い、めざしたこと）
	支所の周知と関係者との顔の見える関係を作る。困ったときに早く相談に繋がること、住民も支所も互いに相談できる場所、人と繋がっている地域であること。
	上手く取組めたこと（努力したこと）
	区長、民生委員・児童委員、まちづくり協議会とのネットワークづくり。相談を受けるだけでなく、相談に乗ってもらうこともあった。地域の協議体へ参加し、名前や顔を覚えてもらうことから始めた。菩提寺学区のすすく会議では支所2名で必ず参加し、声をかけてもらえるようになった。
見えてきた地域の姿	中学校区の課題や特徴
	<p>【菩提寺】 地域のネットワークは、すでに出来上がっている。それでも、ひとり暮らしの高齢者や認知症高齢者の暮らしを支援していくのは難しいケースがある。地域との繋がりの薄い人を支援していくにはどうすればよいか課題である。 高齢化率が高い地域があり、移動手段がなく買い物や通いの場等に行くことができない人が増えている。</p> <p>【岩根】 昔ながらの繋がりが強く、家族力が高い地域である。その一方で、SOSの発信が遅く相談や支援に繋がりにくい特性がある。相談窓口としての支所の役割が周知されていない状況がある。</p>
個別ケース会議での検討課題	<p>救急搬送を繰り返す認知症を有する独居高齢者について 平時の支援と緊急時の対応について協議 地域と関係機関との支援チーム作りと連携・役割分担 地域での見守り体制構築</p>
めざすべき地域の姿	<p>【菩提寺】 住民同士が支えあえる地域 【岩根】 SOSが発信しやすい、相談しやすい地域</p>
次年度特に努力すること	<p>地域ケア会議で協議し抽出した地域課題の解決に向けて、支援者や住民との検討を行う。生活圈域地域ケア会議を継続し、地域づくりに努める。</p>

湖南省地域包括支援センター日枝支所 総合相談業務について

資料2-④

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計	
全体件数	80	107	150	165	180	193	200	182	195	1452	
実人数	40	40	34	24	16	25	22	18	18	237	
相談形態	訪問	20	24	40	50	46	43	46	39	40	348
	来所	7	15	11	9	16	9	8	11	4	90
	電話	35	53	66	88	89	93	96	86	100	706
	会議	4	2	8	5	7	10	9	11	11	67
	その他	14	13	25	13	22	38	41	35	40	241
相談経路	本人	12	19	25	33	35	40	48	30	29	271
	家族	10	13	23	20	21	20	7	31	32	177
	本所	34	21	36	23	28	40	27	23	31	263
	他支所	1	0	0	2	0	0	0	0	1	4
	民生委員	1	4	3	9	13	12	22	21	20	105
	医療機関	3	6	9	27	15	11	10	16	8	105
	CM	14	31	43	29	38	52	70	50	50	377
	警察	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	サービス事業所	1	7	6	15	17	4	4	4	9	67
	福祉機関	0	3	2	4	7	10	9	6	15	56
	その他	4	3	3	3	6	4	3	1	0	27
合計	80	107	150	165	180	193	200	182	195	1452	



今年度取組めたこと	今年度の目標（狙い、めざしたこと）
	地域の実態を把握する。特徴を知る。 地域の支援者と繋がる。 支所の周知を行う。
	上手く取り組めたこと（努力したこと）
	アウトリーチを積極的に行い、地域の実態把握をさらに積み上げ各地域の実情に応じた地域づくりを展開する。 地域の支援者とのつながりを強化し、各地域ごとの事態に見合った地域ネットワークづくりを行う。
見えてきた地域の姿	中学校区の課題や特徴
	下田、水戸と小学校区ごとに高齢化率や地域特性が大きく異なる。また、区単位においても特性が異なる。 生産年齢人口が多い地域も、5～10年後には急激に減少することが想定される。 水戸学区では独居高齢者が多く、うまく地域とつながれていない実態がある。 自らがSOSを発信しやすい仕組みが必要。 地域との繋がりにくい独居高齢者や精神疾患等を抱える家族が多い。
個別ケース会議での検討課題	家族内において複合的な課題を有するケースについて、他職種との連携・情報共有・協働・横のつながり チーム支援において顔の見える関係づくり
めざすべき地域の姿	誰もが「ここに住んで良かった」と思える地域づくり 自らがSOSを発信しやすい仕組みづくり お互いが相談しやすいネットワークの構築
次年度特に努力すること	アウトリーチを積極的に行い、地域の実態把握をさらに積み上げ各地域の実情に応じた地域づくりを展開する。 地域の支援者とのつながりを強化し、各地域ごとの事態に見合った地域ネットワークづくりを行う。